

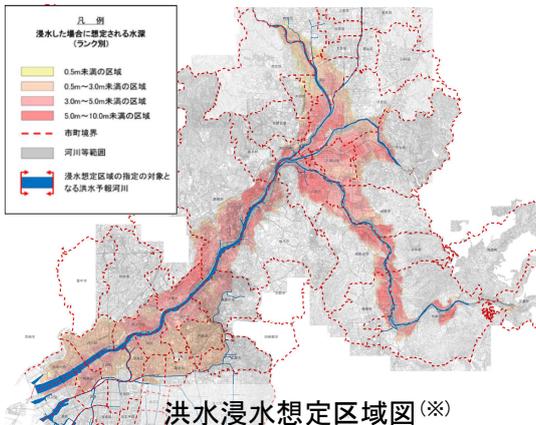
「水防災意識社会 再構築ビジョン」

想定最大規模の降雨による 洪水浸水想定区域 の公表  
～的確な避難行動につながる防災情報の周知～

淀川河川事務所では「水防災意識社会再構築ビジョン」として、関係機関と連携して、ハード・ソフト一体となった減災の取組みを進めています。

この度、水防法に基づき的確な避難行動につながる防災情報の周知として、淀川・宇治川・木津川・桂川において「想定最大規模の降雨」による洪水浸水想定区域や初めて家屋倒壊等氾濫想定区域等を公表しました。（平成29年6月14日公表）

今後は、これらの情報により市長及び町長による避難勧告等の適切な発令や住民等の主体的な避難の取組みが一層進むことが期待されます。



洪水浸水想定区域のポイント

○想定最大規模の降雨による浸水想定

- ・平成27年の水防法改正を踏まえ、平成14年に公表した浸水想定区域を想定しうる最大規模の降雨による想定へ15年ぶりに見直し。
- ・想定最大規模として360mm/24時間(年超過確率1/1000程度 枚方上流)の降雨を設定。

○詳細な氾濫シミュレーションによる精度向上

- ・詳細な地盤情報をもとに、前回の100倍の詳細さでシミュレーションを実施。  
(メッシュサイズ: 250m×250m⇒25m×25m)
- ・シミュレーションでは中小河川や排水ポンプの条件を現実的なモデルとして表現。

○初めて浸水継続時間・家屋倒壊等氾濫想定区域を公表

- ・浸水継続時間は、洪水時に避難が困難となる一定の浸水深を上回る時間の目安を示し、立ち退き避難の要否や企業BCPの策定等に有用な情報。
- ・家屋倒壊等氾濫想定区域は、家屋が流失・倒壊等のおそれがある範囲で、洪水時における屋内安全確保の適否の判断等に有効な情報。



公表当日に記者説明会を開催し、テレビ5局、新聞6紙にて報道されました。

※ 洪水浸水想定区域図等については、淀川河川事務所のHPでご覧頂けます



【淀川河川事務所による記者説明会の開催概要】  
開催日時：平成29年6月14日(水)  
10:00～11:30  
開催場所：大阪合同庁舎1号館 第1別館

【お問い合わせ先】  
国土交通省 近畿地方整備局  
淀川河川事務所 調査課  
〒573-1191枚方市新町2-2-10  
TEL 072-843-2861

公式facebookページ開設



アカウント：国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所  
ユーザーネーム：@yodogawa.mlit